



工費十九萬六千圓 湯本水道愈よ認可

町民一般が水を得られる喜び
の上に失業者の緩和に好事業

石城郡湯本町は炭礦の地下を受けた同水利権を湯本町堀さくによる井泉の涸渇でに譲渡する使用水量一個五飲料水に窮し前に入山採炭分の右水道計書を申請の通が企畫する水道の給水を受け許可することになった同くる心算であつたが其の實現町上水道工事は五、六なき爲め

町独自の水道布設計
九萬六千二百圓の豫算であ
計する好川分流の大瀬江
筋に取入口を設ける計書の
下に町及び炭礦の連署を以
て此の認可申請中であつた

築港費の三割天引 小名濱港の復活運動

鈴木町長等上京して東北各
關係の代表と主務省に膝詰

石城郡の小名濱港外東北の各既定豫算の遂行を陳情中
三港修築豫算に對して大蔵である小名濱港の六年度豫
省の収入減から天引三割の算は三十五萬圓で此の三割
大斧鐵を受けような模様が大引は實に十一萬圓の
あるので小名濱町長の鈴木
榮氏は右關係築港
代表と 共に九日東京
の翌十日内務省に會同の上
方では炭礦を初め各事業の

失業者の懊惱慘苦目 不振から他の想像にも及ば

不振から他の想像にも及ば
ざる不況の尖端に陥り

もあてられぬ状態にあるの
で荒み切つてゐる人心に此
上の行詰りは相當考慮せね
ばならぬものが多く政府が
農山漁村の救済に深意し
莫大な 低資融通をす
ら斷行されてゐる折柄その
方針にも添はぬ道方である
と云はねばならぬ飽くまで
この復活に向つて突進す
ると地元有志にも悲壯な覺
悟を見せてゐる。

平町牛乳屋の
奇贈乳

健週期間毎日
二十リットル

學縣的に行はれる十日から
七日間の健康増進週間に於
て平町鈴木、若松、岡田の
三牛乳店及び内郷村内郷牛
乳舎では毎日二十リットル
宛平器を経て同町に適當な
る滋養料として補給方を添
へ寄贈された。

表彰と感謝状 學校と團體

今日午後
一時に授贈

の功勞によつて(以上)

木炭出荷
漸く活況

但相場は前
年の約半額

各衛生組合は何れも組合
規約を遵守し成績良好で
今夏季石油乳劑撒布 蠅
の驅除に努め公衆衛生に
大なる功を認められて▲
感謝、内郷村高坂尋常高
神谷村尋常、豊間村尋常
の三校は平素火防と學校
衛生に良好なる成績を上
げ今夏季蠅取りを催しに
兒童職員を擧げて各家庭
に之れが驅除を行へる等
約半額の下落である。

危なかつた常銀支店 五百圓の偽小切手

丸山活版所から盗んだもの
詐欺に失敗した卅才前後の男

今日午前九時頃平町常
銀行支店へ古ぼけた柿色の
雨合羽に頭布を真深かに冠
つた年輪三十歳前後の男が
平町白銀町丸山活版所主
丸山徳平氏振出の
小切手 五百圓記載の
押受を求めたが係行員が丸
山氏平常の筆蹟と甚だしき
相違あるに氣づいて振出先
に實否を質して見ると丸山
方では同日午前二時頃電燈
を消して

件は早くも姿を
消し電話を以ての急報に
雨合羽に頭布を真深かに冠
つた年輪三十歳前後の男が
平町白銀町丸山活版所主
丸山徳平氏振出の
小切手 五百圓記載の
押受を求めたが係行員が丸
山氏平常の筆蹟と甚だしき
相違あるに氣づいて振出先
に實否を質して見ると丸山
方では同日午前二時頃電燈
を消して

俳句

秋ピクニック (三)
満壽莊主人
蜻蛉やとりつきかねし草
の上 芭蕉
二度三度四度五度いらだた
しい蜻蛉の素より彼の大眼
玉を光らしてきつと地蔵尊
を消して
直向ひになつた
蜻蛉に睨まれ給ふほけ
かな 一茶
室内を調べた結果小切手用
紙三枚と印章が紛失して
るので前後の賊と判明した
が身邊危ふしと見れる
見上げれば

牛乳協會の 健週宣傳

十三日鳴物入
で郡内を宣傳

本縣牛乳協會の第六平
植田、四倉署管内では健康
増進週間に健康保健上密接
な關係ある牛乳の宣傳をな
すべく左記の計書を立てた
▲十三日午後八時半半署
集合同九時で講話、午
前九時から自動車で音楽
隊同乗、草野、四倉
高久、江名(小名濱通過
隊)が片手かけたたり
當郎が片手かけたたり
鐘に 一茶
彼の當郎の斧を以て龍車に
向ふのとへを引くまでも
なく實際かまきりと云ふ虫
は生意氣な真似をする虫で
あるオ、やすくして居る
中にAもBも前へ行つて仕
舞つたかう云ふ處で一人に
舞つたか云ふ處で一人に
なるのは余り氣持のよいも
のでない
うそ寒し誰やら人を呼ん
でゐる 桑花
オ、イ、と呼ぶ聲も何と
なく陰にこもつて居る様
身ぶりの出るひびきがあ

山崎延吉氏の 農事講演

永戸校にて
來る二十日

石城郡水戸村及び隣接部落
に於ける村農會並に各種團
體聯合主催を以て來る三十
日急ぎで追つて見ると其
處は小さな漁村である
海を見る片側町やあき晴
る、冷葉
山を山を負ひ前は海を
見はるかす此、さな漁村で
も今漁船の新造中である
秋晴れの船渠にのみひ
びきかな 秋果
とん／＼こつ／＼岸打つ波
のさう／＼たる響に和して
土地に似合はぬぬはひを見
せて居る此新造の漁舟に大
漁のさあれかしと祈りて
岬角に立てば
片つらに皆向く磯のす、

非常招集 平窪消防の

十日午前二
時に警鐘打

石城郡平窪消防組では十
日午前三時半署の急傳で
日午前三時半署の急傳で
組員の非常招集を執行し午
前五時半同村小學校に參集
せる全組員を出張の鯨岡警
部補及び阿部巡查部長によ
り器械具の檢閲並に人員點
呼を済まし同半時解散した
が突差の招集としては成績
良好であつた。

泉 植田 勿來 湯本 好問各道宣傳

日永戸小學校に農事講演會
を開催の筈であるが講師は
本邦に有名な帝國農會囑託
山崎延吉農學士であると

警高女の
運動會
來る十七日

縣立磐城高等女學校では來
る十七日午前八時同校庭に
於て第十七回陸上運動會を
開催の筈であるが當日雨
なれば順延であると。

四 藪市況

四倉藪市場に於ける九日の
取引は千四百三十三貫百八十
目の出荷で此の代金二千五
百五十三圓六十八錢當日の
最高は二圓十一錢最低一圓
五十二錢平均一圓八十一錢
であつたが累計は三萬六千
九百五十八圓五百五十目代金
七萬八千八百一十七錢である

花徑

きかな
サツと吹つくる海風に磯の
すゝきは皆一方むきに向ひ
て居る其磯山つゞきの田圃
の方に眼をやれば名もなき
小川の流れが今し海に注が
んとする處に一むらじげく
生ひたるすゝきのいつぞや
の時に荒されたるならん
茫々とすゝき折れ伏す秋
の水 曉台

